

20 飯 産 第 527号
平成20年10月24日

国土交通省道路局長 様

福島県相馬郡飯舘村長 菅 野 典 雄



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

標記の件について、別紙の通り提出しますのでよろしくお願いします。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

福島県飯舘村

1. 道路整備について、国・県・市町村道それぞれの管轄で、それぞれの管理者が行っており、財源が厳しく進まない現状であるが、金のない中、どのような手法だとやれるのか、各機関がお互い協力しあって共に財源を工面したり、構造を工夫するなどの努力が必要である。管轄外でも同じ目的に向かって実施できないか、金額のかからない道路整備を真剣に考えなくてはいけないと思う。

○1. 5車線的な道路整備に補助枠

(道路構造令の規格どおりの整備ではなく、地域の実情に合わせた1. 5車線的な道路整備)

○道路特定財源の確保

○道路・河川管理者(管轄)外でも、維持管理ができるような制度

(地方分権によるダブル区間の県管理など)

2. 国民に効率化だけを望むようなことはおかしい。

日本人は、小さいのは効率(スピーディ)が悪いというイメージがある。また、国民に白か黒かを求めていたが、これからは効率だけではだめだと思う。

3. 日本は、フィンランドの教育・福祉やフランスの子育てを見習うべきだと思う。

福祉の先進国であるデンマーク、フィンランドの人口は約 540 万人と日本の約 1/19 で、規模が小さく小回りが効く。小さな市町村は、舵がきれるが、規模が大きい(国)と舵がきれない。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

様式 ②

福島県飯舘村

○ 現状

1. 冬期間の安全・安心に走れる道路整備を望んでいる。
2. 公共工事削減による建設業者の廃業。
3. 本村の管理する道路延長は約298kmであり、草刈りや支障木伐採等の維持管理が住民の要望に応えきれない状況。

○ 課題

1. 財源不足のため財源確保ができない等課題となっている。
2. 建設業者の廃業によって、除雪作業を委託する業者の確保が難しくなっている。
3. 財源不足から地域住民がボランティアで、生活道路の草刈を年2回実施するなど維持管理に携わっているが、高齢化により作業者が少なくなっている。

大いなる田舎 まいでいライフ・いいたて

～ 素敵な笑顔と心地よい汗で「まかせる村」から「かかわる村」へ ～

1. 感性豊かで自立心のある『共育』を大切にする村
(学校・家庭・地域が手をたずさえて共に育つ人づくりをめざします)
2. 『いたわりあい』と『支えあい』の優しい笑顔と心が満ちた村
(誰にでもやさしく長生きのできる村づくりをめざします)
3. からだと大地のいのち・健康を支える循環型の村
(まいでいな暮らしを支える飯舘らしい生活環境の改善と創造をめざします)
4. 『まidea暮らし』を支える舞台や仕組みの整った村
(自然に生きるための農村環境づくりをめざします)
5. 農的な暮らしとともに飯舘流の産業が息づく村
(まいでいブランドを軸に経済が循環する村をめざします)
6. 一人ひとりが生き方や暮らしに誇りを持ち、笑顔にあふれた村
(ひとびとの多様な生き方を支援するシステムづくりをめざします)

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

福島県飯舘村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
安全・安心な道路管理	橋梁の長寿命化修繕計画策定事業	早期な予防・修繕等を図り橋梁を維持管理するコスト削減と財源確保	
美しい地域づくり	無電柱化事業	電線地中化により農山村及び観光地の景観に配慮した整備に期待する。	